

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第21週 (5/18-5/24) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	21週	20週	19週	18週
小児科	18	18	18	15
眼科	5	5	5	4
インフルエンザ*	28	28	28	22
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	5/18-5/24	5/11-5/17	5/4-5/10	4/27-5/3	5/11-5/17
			21週	20週	19週	18週	20週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		0	0	0	1	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	10	2	6	57
	感染性胃腸炎		20	20	17	16	117
	水痘		2	1	0	1	9
	手足口病		2	2	1	0	4
	伝染性紅斑		0	0	0	0	4
	突発性発しん		8	13	2	3	44
	ヘルパンギーナ		0	0	1	0	0
	流行性耳下腺炎		0	0	0	0	7
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	1	1	1
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		1	0	1	1	7
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(3件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	70歳代	病原体の分離・同定等	新型コロナウイルス感染症	女性	20歳代	病原体遺伝子の検出
急性脳炎	男性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状	-	-	-	-

\*第21週は、結核1件(59)、急性脳炎1件(4)、新型コロナウイルス感染症1件(109)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第21週のコメント

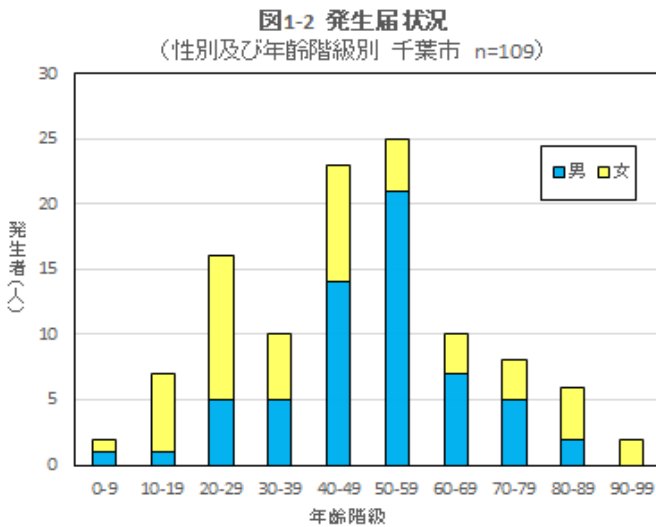
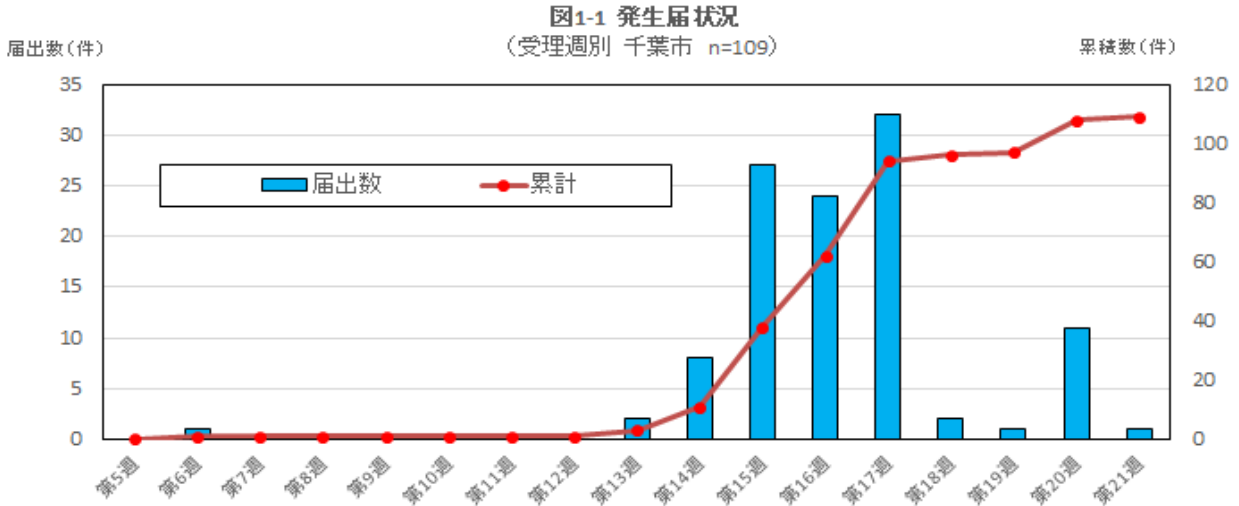
過去10年の同時期と比べて全て平均未満となっている。

<トピック>

<新型コロナウイルス感染症>

・発生届

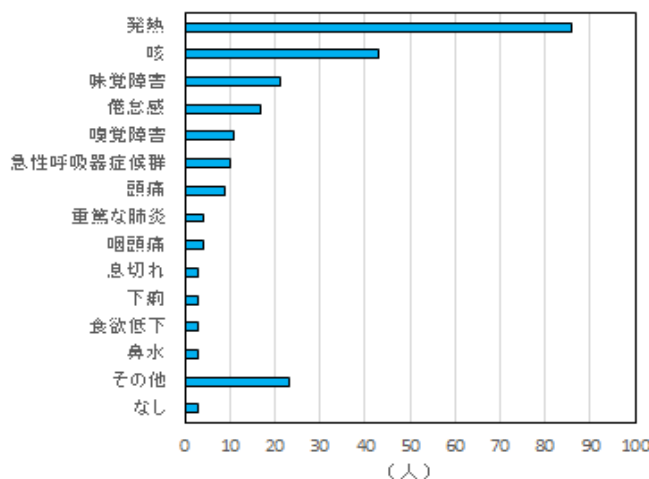
第21週は再び減少して1件の届出があり、合計は109件となりました(図1-1)。  
 性別では男性が61名(56.0%)、女性が48名(44.0%)で、年齢層は0歳から90歳代まで、年齢中央値は全体で50.2歳で、男性で51.1歳、女性で49.1歳となっています。年齢階級別では50歳代(25名:22.9%)、40歳代(23名:21.1%)、20歳代(16名:14.7%)の順に多くなっています。年齢階級の男女比は、男性は40歳代~70歳代で占める割合が高いことに対して、女性は10歳代、20歳代及び80歳代以上で占める割合が高くなっています(図1-2及び表1)。  
 症状は、発熱(86名:78.9%)、咳(43名:39.4%)、味覚障害(21名:19.3%)の順で多くなっています(図1-3)。



中央値	51.1	49.1	50.2	
年齢層	男	女	計	
0-9	1	1	2	1.8%
10-19	1	6	7	6.4%
20-29	5	11	16	14.7%
30-39	5	5	10	9.2%
40-49	14	9	23	21.1%
50-59	21	4	25	22.9%
60-69	7	3	10	9.2%
70-79	5	3	8	7.3%
80-89	2	4	6	5.5%
90-99	0	2	2	1.8%
100-	0	0	0	0.0%
計	61	48	109	100.0%
	56.0%	44.0%	100.0%	

表1 性別及び年齢階級別

図1-3 症状別(重複あり)



## ・ウイルス検査

千葉市環境保健研究所では、2020年第21週（2020年5月24日時点）までに3361例（検体数3549）について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は3104例（うち陰性化確認等225例）となっており、この他クルーズ船関連事例191例（うち陰性化確認126例）、その他陰性化確認等66例の検査を実施しました。

陰性化確認等225例を除いた市中感染・輸入例疑い事例2879例（検体数3016）については、陽性は109例（陽性率：3.8%）でした（図2-1）。陽性率について、年齢階級別では10歳代（7.2%）、50歳代（6.2%）、40歳代（5.0%）の順で多くなっています（図2-2及び表2）。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査状況

（週別 千葉市：5月24日現在 n=2879）  
（クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く）

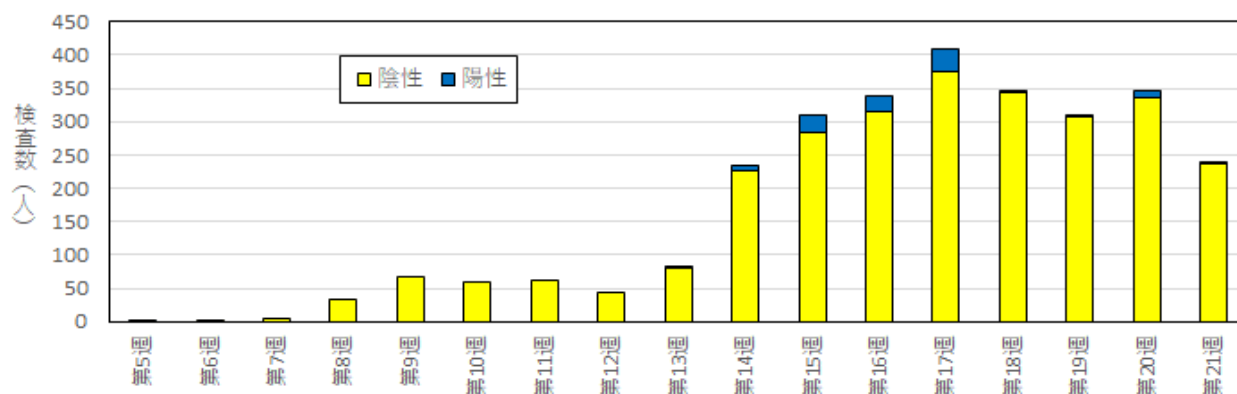
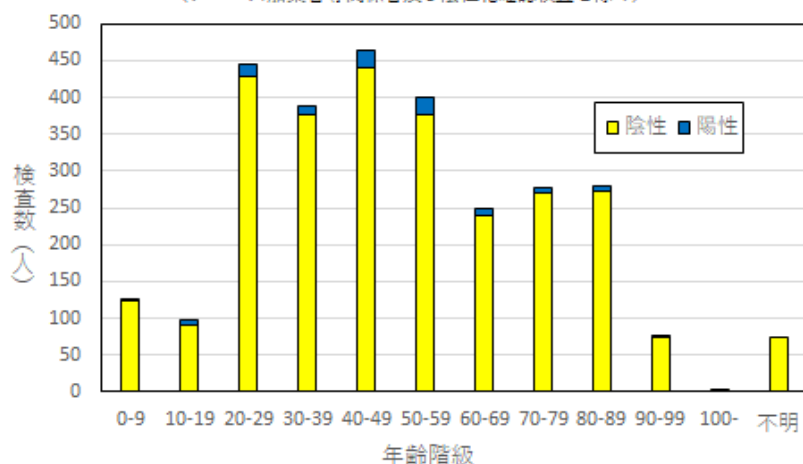


図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例PCR検査状況

（年齢階級別 千葉市：5月24日現在 n=2879）  
（クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く）



年齢階級	陽性	陰性	計	陽性率
0-9	2	123	125	1.6%
10-19	7	90	97	7.2%
20-29	16	428	444	3.6%
30-39	10	377	387	2.6%
40-49	23	441	464	5.0%
50-59	25	376	401	6.2%
60-69	10	240	250	4.0%
70-79	8	269	277	2.9%
80-89	6	273	279	2.2%
90-99	2	75	77	2.6%
100-	0	3	3	0.0%
不明	0	75	75	0.0%
計	109	2770	2879	3.8%

表2 年齢階級別の検査状況